

令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

千葉市

（地域における現状・課題）

市内中学校の部活動総数は、555部で全体の46%は競技経験がある教員が部活動の顧問になっているが、半数以上の部活動は、競技経験がない教員が顧問となっており、部活動指導に負担を感じている顧問の割合は、41.8%である。部員数の減少により、合同チームで大会に参加した部活動数は27となっており、部員数の減少により部活動の存続が危ぶまれているケースも見られている。休日の地域スポーツクラブ活動について、「兼職兼業の希望のある教職員」はアンケート調査に回答した2,963名の11.7%（347名）となっており、全ての運動部活動を地域スポーツクラブ活動へ移行するうえで必要となる想定指導者数（約650名）を下回った。地域スポーツクラブ活動体制の確立に向けて、地域スポーツクラブ活動の受け皿となり得るスポーツ関係団体や指導者の確保が課題となっている。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：民間事業者 / 千葉市教育委員会

活動場所：千葉市立加曽利中学校・貝塚中学校・大椎中学校・越智中学校

指導者：民間事業者の指導者、地域のスポーツクラブ指導者、プロスポーツチームの指導者

移動手段：徒歩、自転車

責任主体：民間事業者 / 千葉市

活動種目：野球、陸上競技、バドミントン、サッカー

会費等：無料（公費負担）

保険：無料（公費負担）

（実践研究の成果）

「行政が運営主体」「民間企業が運営主体」2つの手法で実施したことにより、本市の方向性を検討するための考えを整理できた。

（運営体制図）※民間事業者への業務委託の例

